PRISM EQ - N73 ユーザーマニュアル

マニュアル改訂：2026-11-06

目次

1. はじめに 2

画面の構成 2

2. インストール 3

動作環境 3
インストールの手順 3
アップデート 3
ダウンロード 3
DAW で読み込む 3
アンインストール 3

3. ライセンスの有効化と体験版 4

状態の表示 4
製品版を有効にする 4
ライセンス画面 5
複数の PC とオフラインでの使用 5
体験版を始める（14日間） 4
承認待ちの画面 5
体験中の購入と、体験が終わったとき 5

4. 各コントロールと基本操作 6

マウス操作 6
初期状態 6

5. EQ TYPE：2つのEQ特性 7

DRIVEは両タイプ共通 7
周波数・GAINの目盛り 7
保存と切り替え 7

6. DRIVE・モニター・全体調整 8

DRIVEとOUTの使い分け 8
PHASE（出力極性） 8
POWERと比較 8
モニターの見方 8
OS（オーバーサンプリング） 8

7. 比較・履歴・プリセット 9

A/BとUndo / Redo 9
自分の設定を保存する 9
プリセットを読み込む 9
名前表示とプロジェクトの復元 9

8. 設定 10

Settingsと画面倍率 10

9. 操作で困ったとき・基本仕様 11

基本仕様 11

10. 更新確認と製品ページ 12

更新の案内 12
ネットに接続できないとき 12
設定 → 更新確認での操作 12

11. 困ったとき 13

1. はじめに

PRISM EQ - N73 は、ブリティッシュ・クラスAコンソールをモチーフにした、3バンドEQとハイパスフィルターを備えるVST3エフェクトです。段階式の周波数選択と、DRIVEによる入力段の色付けを使って音を整えます。



N73のモデルパネル。設定例：既定値。

DAWのステレオトラックへ **[N73] PRISM EQ** を追加し、HPFと各バンドで音を整えます。**DRIVE**で色付けを調整し、**OUT**で音量を揃えて比較します。

画面の構成

領域	操作・表示
上部ヘッダー	Undo / Redo、PRESET、OS、A / B、RESET、Settings、POWER
中央モニター	入力・出力スペクトラム、EQ応答カーブ。左にモデル名とEQ TYPE、右にDRIVEの反応表示。
下部パネル	DRIVE、HPF、LOW、MID、HIGH、OUT。OUTの上にPHASE。
フッター	ライセンス状態（押すとライセンス画面）、体験中のBUY、中央のClassic Series、PRIZLUNEから本製品ページへのリンク

2. インストール

動作環境

- Windows（64ビット）と、VST3 に対応した 64ビットの DAW
- Prizlune アカウント（無料）と、体験版の開始・製品版の有効化のときのインターネット接続

ダウンロード

prizlune.com/products/n73/ の製品ページから ZIP をダウンロードします。体験版と製品版のインストーラーは同じです。製品版を購入した場合も、同じものを使います。

インストールの手順

1. ダウンロードした ZIP を右クリックし、「すべて展開」で展開します。
2. 展開したフォルダーの `Install PRISM EQ - N73.exe` を実行します。
3. 「Windows によって PC が保護されました」と表示された場合は、「詳細情報」を押してから「実行」を押します。インストーラーにコード署名がないため、この警告が出ることがあります。
4. 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」には「はい」を押します。共通の VST3 フォルダーへ書き込むため、管理者の許可が必要です。
5. 言語を選び、使用許諾に同意して、画面の指示に従います。

インストール先：`C:\Program Files\Common Files\VST3\PRISM EQ - N73.vst3`

DAW で読み込む

DAW を起動し、必要に応じてプラグインを再スキャンします。プラグイン一覧には **[N73] PRISM EQ**（メーカー名 Prizlune）と表示されます。

インストール直後は **NOT ACTIVATED** の状態で、音は加工されずにそのまま出力されます。次の章の手順で、体験版を始めるか製品版を有効にしてください。

アップデート

新しい版のインストーラーを同じ手順で実行すると、上書きされます。ライセンス、プリセット、画面の設定はそのまま残ります。

アンインストール

ZIP に含まれる `Uninstall PRISM EQ - N73.exe` を実行するか、Windows の「設定」→「アプリ」から削除します。ライセンスとプリセットは削除されないため、入れ直せばそのまま使えます。

3. ライセンスの有効化と体験版

PRISM EQ - N73 を使うには、Prizlune アカウント（無料）で**体験版を始める**か、**製品版を有効にする**必要があります。有効にする前も、パラメータの操作、プリセット、プロジェクトへの保存はできますが、音は加工されずにそのまま出力されます（素通し）。

状態の表示

フッター左の表示	状態	音
NOT ACTIVATED	体験版も製品版も有効になっていない	素通し
ACTIVATING	ブラウザでの承認を待っている	それまでの状態のまま
TRIAL · N DAYS LEFT	体験中。N は残り日数（残り1日は 1 DAY LEFT）	処理する
TRIAL ENDED	体験期間が終了した	素通し
FULL	製品版	処理する

フッターの表示を押すと、ライセンス画面が開きます。NOT ACTIVATED と TRIAL ENDED のときは、製品画面の上端に案内帯が表示されます。



NOT ACTIVATED のときの案内帯

体験版を始める（14日間）

1. 案内帯の **体験版を開始** を押します。ブラウザで My Prizlune が開きます。
2. Prizlune アカウントでログインします。アカウントがない場合は、その画面で作成できます。
3. ブラウザのコードがプラグインに表示されたコードと同じことを確かめ、**このPCで体験を始める**を押します。
4. フッターが **TRIAL · 14 DAYS LEFT** になれば完了です。

体験版は、1つのアカウントにつき製品ごとに1回、同じ PC でも1回だけ使えます。体験中はすべての機能を製品版と同じように使えます。

製品版を有効にする

1. prizlune.com で製品を購入します。購入した製品は、購入に使った Prizlune アカウントに登録されます。
2. プラグインの **有効化** を押します（案内帯またはライセンス画面）。
3. 購入したアカウントでログインし、コードを確かめて**このPCで有効にする**を押します。
4. フッターが **FULL** になれば完了です。

3. ライセンスの有効化と体験版（続き）

承認待ちの画面



承認待ちの画面（コードは例）

体験版を開始 または 有効化 を押すと、プラグインの中央に承認待ちの画面が開き、コードと残り時間を表示します。**10分以内**にブラウザで承認してください。承認されると、ライセンスがこの PC に保存され、すぐに使えるようになります。

- **ブラウザーを開く**：承認のページをもう一度ブラウザで開きます。
- **キャンセル**（または Esc）：有効化を中止して、元の状態に戻ります。

ライセンス画面

フッターの状態表示、または Settings 左下の **License** で開きます。右上の × または Esc で閉じます。

- **体験中**：終了日を表示します。**購入** で購入ページを開き、購入後に **有効化** で製品版へ切り替えます。**MY PRIZLUNE** で会員ページを開きます。
- **製品版**：登録アドレス、この PC の名前、有効化日を表示します。**再読み込み** は保存済みのライセンスを読み直します。

体験中の購入と、体験が終わったとき



体験中のフッター（右の 購入 で購入ページを開く）

体験期間が終わると、上端に **TRIAL ENDED** の案内帯が表示され、音は素通しになります。設定やプロジェクトは失われません。**購入** で購入し、**有効化** で製品版にすると、そのまま使い続けられます。

複数の PC とオフラインでの使用

- ライセンス認証の通信は 体験版を開始 と 有効化 の操作時に行います。有効化後はオフラインで使えます。更新の自動確認は認証とは独立し、SettingsでOFFにできます。
- ご本人のアカウントで使う限り、有効にできる PC の台数に制限はありません。PC の買い替えや Windows の入れ直しのときは、新しい環境で 有効化 を押してください。古い PC の解除は不要です。
- 持っている製品と有効にした PC は、My Prizlune（account.prizlune.com）で確認できます。

4. 各コントロールと基本操作

コントロール	範囲・役割
INPUT	-24〜+24 dB。DRIVEより前の入力レベルを調整します。0 dBで従来の音を維持します。
DRIVE	-24〜+24 dB。EQより前の入力レベルと、LINE段の色付けを調整します。
HPF	OFF / 50 / 80 / 160 / 300 Hz。低域を減衰させます。
LOW	OFF / 35 / 60 / 110 / 220 Hz。低域シェルフ。GAINは-16〜+16 dB。
MID	OFF / 360 / 700 Hz / 1.6 / 3.2 / 4.8 / 7.2 kHz。中域ベル。GAINは-18〜+18 dB。
HIGH	10 / 12 kHz。高域シェルフ。GAINは-16〜+16 dB。
OUT	-24〜+24 dB。EQの後の出力レベル。DRIVEで上がった音量の調整にも使います。
PHASE	ONで処理後の左右両チャンネルの極性を反転。OFFで通常極性へ戻ります。

HPF / LOW / MIDの**OFF**は、そのフィルター／帯域を外します。HIGHにはOFF位置がないため、増減を戻すにはGAINを0 dBへ戻します。周波数表示はセレクターの基準値です。アナログ的な複合応答により、カーブは単純な理想フィルターとは異なります。

マウス操作

操作	動作
上下ドラッグ	値を変更。周波数セレクターは段階式に移動します。
ホイール	コントロールの値を変更します。
ダブルクリック	そのコントロールを初期値へ戻します。

初期状態

INPUT / DRIVE / OUTと各GAINは0 dB、HPF / LOW / MIDはOFF、HIGHは10 kHz、EQ TYPEはTYPE B、PHASEはOFF、OSは1x、POWERはONです。**RESET**は現在選択中のA/Bバンクを既定値へ戻します。

5. EQ TYPE：2つのEQ特性

モデル名の下の**TYPE B / TYPE U**で、HPFと3バンドEQの特性を切り替えます。同じ周波数・GAINでも、帯域の広がり、シェルフの形、複数バンドを使ったときの応答が変わります。モニターのEQカーブも選択したタイプに連動します。

タイプ	使い分け
TYPE B	N73従来のEQ特性。初期状態および以前の設定を読み込んだときのタイプです。
TYPE U	別の1073系EQ応答を参考に調整した特性。中域の広がりや、LOWとHIGHを併用したときの応答がTYPE Bと異なります。

DRIVEは両タイプ共通

EQ TYPEが変えるのはEQ部です。DRIVE / LINEの色付け、OUT、PHASE、OSの役割は共通です。DRIVEを固定し、同じEQ設定のまま切り替えると、EQ特性の違いを比較できます。音量差はOUTで揃えて判断してください。

保存と切り替え

EQ TYPEはA/Bバンクごとに記憶し、プリセットとDAWプロジェクトにも保存します。以前のプロジェクトやEQ TYPEを持たないプリセットはTYPE Bで読み込みます。RESETもTYPE Bへ戻ります。ヘッダーの**A / B**は設定バンク、**TYPE B / TYPE U**はEQの種類です。

金属枠のボタンを押すと切り替わり、選択中のタイプは押し込まれたキャップと琥珀色のランプで示します。EQ TYPEにフォーカスがあるときは左右矢印キーでも選べます。DAWからのEQ Typeオートメーションにも対応し、再生中の切り替えには短いクロスフェードがあります。

周波数・GAINの目盛り

目盛りは操作上の基準値で、測定上のピーク値や一定周波数での増減量を保証するものではありません。TYPE UのLOW上端は、参考応答の最大設定に対応します。HIGHの10 kHzはN73独自の拡張で、TYPE Uの12 kHz特性を周波数方向へ移したものです。

6. DRIVE・モニター・全体調整

DRIVEとOUTの使い分け

音声は **入力** → **INPUT** → **DRIVE** → **LINEの色付け** → **EQ** → **OUT** → **PHASE** → **出力** の順に処理します。DRIVEは入力レベルとLINE段の特性を変えます。素材の周波数や入力の強さに応じて、偶数・奇数の倍音や飽和の出方が変わります。

DRIVEを上げたらOUTを下げ、比較時の音量を揃えて判断します。各バンドのブーストで大きくなった音量もOUTで整えます。出力レベルはDAWのメーターでも確認してください。

モニターの見方

入力・出力スペクトラムは素材の周波数成分、カーブはEQ応答の目安です。グラフは表示専用です。右の**SAT / HARMONICS**と暖色の光は、DRIVE設定と入力音に応じた色付けの目安です。精密な歪率計ではありません。

PHASE（出力極性）

OUTの上の**PHASE**を押すと、処理後の左右両方の正負を反転します。マルチマイクや並列経路の音を混ぜるときの極性比較に使えます。周波数ごとの位相や時間差は調整しません。LINEの前で反転する操作とは異なり、色付けを終えた信号を反転します。

OS（オーバーサンプリング）

ヘッダーの**OS**から1x / 2x / 4x / 8xを選びます。LINE段のオーバーサンプリング倍率です。高い倍率ほどCPU負荷が増えます。ホスト報告レイテンシーは全倍率で**32サンプル**（48 kHzで約0.67 ms）。DAWの遅延補正も確認してください。

POWERと比較

POWERをOFFにするとLINE・EQ・INPUT／DRIVE／OUT・PHASEの処理を外し、遅延を揃えた原音へ切り替えます。ホストのBypassとも連動し、切替には短いクロスフェードがあります。

7. 比較・履歴・プリセット

A/BとUndo / Redo

A / Bは2つの設定バンクの比較です。選択したバンクを編集し、もう一方へ切り替えて聴き比べます。PHASEとEQ TYPEもバンクごとに記憶します。**RESET**は選択中のバンクを既定値へ戻します。

左上の**Undo / Redo**はN73内の編集を戻す／進める操作です。一連のノブドラッグは1回の操作として扱います。DAWのUndoとは別です。検索やプリセットメモの編集は、音作りの履歴には入りません。

プリセットを読み込む

1. **PRESET**を押して中央のブラウザを開きます。
2. Factory / User、カテゴリ、検索で一覧を絞り込みます。
3. 使いたい項目を選んで読み込みます。読込先は選択中のA/Bバンクです。

自分の設定を保存する

Save Newから名前とカテゴリを指定して保存します。PHASEとEQ TYPEを含む音作りの設定を保存できます。既存カテゴリを選ぶか、新しいカテゴリを作れます。Userプリセットは改名・削除できます。Factory原本は変更しません。メモやお気に入りはユーザー側へ保存します。取消では音や保存ファイルを変更しません。

名前表示とプロジェクトの復元

読込・保存後は名前とUser／Factoryを表示します。設定を変えると**Custom**、元の設定へ戻すと読み込んだ名前へ戻ります。**Default**は公開既定値です。POWERなどの一時スイッチはプリセットへ含めません。

プリセット名の由来は現在のエディター内で保持します。プロジェクトを開き直すと音の設定は復元しますが、名前表示はCustom／Defaultへ戻ります。プロジェクト全体の保存とプリセット保存は、目的に応じて使い分けてください。

8. 設定

Settingsと画面倍率

設定 → **表示**でUI Scaleを50～200%から選択します。DAWが受理した倍率だけを保存し、次回のエディター表示でも利用します。倍率はN73用のUI設定で、音のプリセットとは別に記憶します。

PRESETとSettingsはヘッダーから直接切り替えられます。同じボタンの再クリック、閉じる操作、Escapeでモデル画面へ戻ります。

Language / 言語で、ライセンス画面と案内の表示言語を**自動 / English / 日本語**から選びます。自動ではWindowsの表示言語に合わせます。左下の**ライセンス**はライセンス画面を開きます。

9. 操作で困ったとき・基本仕様

症状	確認すること
DAWの一覧に出ない	Windows x64のVST3に対応するDAWを使い、DAWを再起動して再スキャンします。
音が変わらない	POWERがONか、HPF / LOW / MIDがOFFでないか、GAINが0 dBでないかを確認します。ライセンス状態も確認してください。
以前のプリセット名が表示されない	プロジェクト再読込時はCustom／Defaultへ戻ります。音の設定はプロジェクトのStateから復元されます。
画面が大きい／倍率が戻る	Settingsで倍率を選びます。DAWが拒否した倍率は保存されません。
更新・削除に失敗する	DAWや他のホストでN73を読み込んでいる場合は、すべて終了して再実行します。

基本仕様

項目	内容
形式	Windows x64 / VST3。対応するステレオDAWが必要です。
音声処理	HPF、LOWシェルフ、MIDベル、HIGHシェルフ、入力段のLINE特性、DRIVE / OUT、PHASE。
OS / レイテンシー	1x / 2x / 4x / 8x。ホスト報告は全倍率で32サンプル。
比較・保存	A/B、Undo / Redo、RESET、Factory / Userプリセット、DAWプロジェクトへの設定保存。

問い合わせの際は、OS・DAW名、サンプルレート、再現手順、表示されるライセンス状態を添えてください。フッターの**PRIZLUNE**ロゴから本製品のページを開けます。

設定は左側の「表示」「言語」「更新確認」に分かれています。見出し・説明・ボタンは選択中の言語に従い、「自動」はOSの表示言語を使います。設定からライセンス画面を開き、右上の×で閉じると、元の設定ページへ戻って操作を続けられます。

10. 更新確認と製品ページ

正式リリース版には更新確認機能があります。エディターを開くと、およそ一日一回、バックグラウンドで公開中の配布版を確認します。確認のためにログインし直す必要はありません。

更新の案内

新しい配布版が見つかると、フッターの版表示付近に **更新あり** が表示されます。押すと本製品のページが開きます。ページの更新情報で変更内容を確かめ、ダウンロードしてください。ダウンロードした更新版はDAWを終了してからインストールします。

設定 → 更新確認での操作

項目	動作
自動確認	初期状態はオンです。オフにすると、自動では問い合わせません。音作りの設定とは別に、本製品の環境設定として記憶します。
今すぐ確認	その場で更新を確認します。自動確認がオフでも利用できます。
製品ページ	取得した公開情報から本製品のページを開けます。右下のPRIZLUNEロゴからも、いつでも本製品のページを開けます。

ネットに接続できないとき

更新情報を取得できなかった場合は、接続を確認してから手動で再確認できます。確認の失敗で音声処理やプロジェクトの保存が止まることはありません。製品はライセンス状態に従って通常どおり動作し、有効化済みの製品はオフラインでも使えます。

更新確認は音声処理とは独立しています。自動確認の設定や通知を操作しても、音色やDAWへ保存するパラメーターは変わりません。

11. 困ったとき

症状・表示	対処
DAW のプラグイン一覧に表示されない	DAW でプラグインを再スキャンします。`C:\Program Files\Common Files\VST3` が検索対象に入っているか、64ビットの DAW かを確認してください。
音が変わらない	フッターが NOT ACTIVATED または TRIAL ENDED のときは素通しです。体験版を始めるか、製品版を有効にしてください。ヘッダーの POWER が ON かも確認してください。
ブラウザを開けませんでした	承認待ちの画面で ブラウザーを開く を押します。Windows の既定のブラウザが設定されているかも確認してください。
承認されませんでした	ブラウザでキャンセルした場合や、購入記録のないアカウントで承認しようとした場合です。購入したアカウントでログインしているかを確かめ、もう一度 有効化 を押してください。
承認の期限が切れました	10分以内に承認されませんでした。もう一度 有効化 または 体験版を開始 を押してください。
このアカウントまたは PC では体験版を使用済みです	体験版は製品ごとに、1つのアカウントでも同じ PC でも1回だけです。購入 で購入するか、購入済みなら 有効化 を押してください。
ライセンスを保存できません	ディスクの空き容量と、ユーザーフォルダーへの書き込み権限を確認して、もう一度お試しください。
有効化できませんでした	インターネット接続と、セキュリティソフトやファイアウォールの設定を確認して、もう一度お試しください。
購入したのに FULL にならない	購入時と同じアカウントでログインしているか、My Prizlune に製品が表示されているかを確認し、有効化 を押してください。別のメールアドレスで購入した場合は、My Prizlune のアカウント管理でそのアドレスを追加すると、製品が表示されます。

解決しない場合は、**prizlune.com/contact/** からお問い合わせください。よくある質問は **prizlune.com/faq/** にまとめています。